

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：中本高夫 編集責任者：南 順三 印刷所：東京印刷株式会社



表紙写真テーマ

厄者勢揃い！！

厄落としの会に集まった会員は、これからの中央会を担う役者揃い！

まさに厄者勢揃いの1枚です。



神に祈る！！

今月のワンショット

これからの中央会を担う会員の集合写真と日頃の不摂生を反省して今後の思いを真剣な表情でお祈りしているような会員の姿が印象に残り、この1枚を収めさせていただきました。



1 月例会報告



1月18日(火)、米子全日空ホテルにおいてエコチャレンジ2004委員会による1月例会(オープン例会)が行われた。

中本会長より、失敗を恐れず自ら進んで挑戦する事、また各委員長が年当初掲げた目標を充実した委員会活動で達成して欲しいと新年最初の挨拶をいただいた後、委員長タイムでは、まちづくり委員会の濱委員長より“男の自律そして自身がまちづくり委員長になった経緯”を語られた。

今月は講師に、日本食品工業(株)の渡部敏樹氏を招き「EMの力 台所から地球を守ろう」というテーマで講演いただいた。人工的に作られた生活排水により地球環境が破壊されており、それにより自然界では分解できない物質が生まれ、処理できないものは巡り巡って人間の体内、母親の羊水の中にまで蓄積されてきている。今まさに環境浄化を真剣に取り組む時と同氏は語った。EMとは世の中に数ある微生物の中でも有用な微生物を集めたエキスで、様々な汚れや腐敗菌をきれいにする働きを持っている。このEMをあらゆる場面で使用し下水に流すことにより、川や海が浄化され美しい自然がよみがえる。体も健康にしてくれる。地球自体が環境浄化される。まさに全てが自然の力である。同氏は行政も巻き込み、今後EMによる環境浄化への取り組みを行っていくことが重要であると締め括られた。



なかなかこのような機会が無いと環境問題に向き合う時が少ない私達にとって、次世代の事を考え今出来る事として非常にためになり有意義な講演であった。



恒例！ 厄落としの会開催



1月23日(日)に本年度の厄落としの会が勝田神社にて行われました。31名の該当者があったが、当日参加は本厄2名、前厄4名、後厄5名、お礼参りの2名の13名でした。参加者が少ないのは事前のPR不足ではなかったかと思いますが、来年は積極的に参加していただきたいと願っております。さて、本題の厄落としですが、AM11:50に勝田神社に集合し、ご祈祷をしていただきました。皆の足が痺れていた事にやはり歳は誤魔化せはしないと感じました。その後、神社前での記念撮影を行い、2次会会場の海潮園へと向かいました。2次会参加者は7名とこじんまりしてしまいましたが、突然松浦副会長が参加されて鍋蓋日本酒一気飲みを全員で行い、ニョッキニョッキの掛け声で今年の厄を追い払いました。

来年はもっと大勢で厄を払いましょう！

1 月度委員会報告

総務委員会

平成17年1月7日(金) 於：炉端 かば 出席者/8名
議題/レクリエーション例会について

メディア・コミュニケーション委員会

平成17年1月12日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/14名
議題/ハンサム、ホームページについて

人づくり委員会

平成17年1月11日(火) 於：大連 出席者/14名
議題/役職別研修内容検討について

まちづくり委員会

平成17年1月11日(火) 於：ホールサムインかいけ 出席者/7名
議題/1月委員会オープン参加について

経営委員会

平成17年1月11日(火) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名
議題/会員企業紹介及び担当例会について

政治行政委員会

平成17年1月13日(木) 於：炉端 かば 出席者/14名
議題/観光・起業班課題の方向性について

国際交流委員会

平成17年1月9日(日) 於：ミトクハーネス食堂 出席者/7名
議題/食文化交流、レクリエーション例会について

エコチャレンジ2004委員会

平成17年1月12日(水) 於：山陰建販 出席者/12名
議題/1月担当例会について

会員拡大特別委員会

平成17年1月20日(土) 於：ホテルサンルート米子 出席者/10名
議題/会員拡大進捗状況について

※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
※詳細については各委員長までご参照ください。

委員会活動
レポート

突撃!!隣の委員会 お隣さんへHere we go!

～まちづくり委員会編～

《まちおこしに燃える人を訪ねて》



1月21日(金)に先進地視察に島根県斐川町を訪れ、福岡敏さんのお話を聞いた。福岡さんは斐川町役場農林振興課の職員であり、内閣官房と経済産業省が選んだ地域産業おこしに燃えるひとの一人で、斐川町に富士通、村田製作所、島津製作所などの企業を含む25社の誘致を成功させたスーパーマンで、どのような話が聞けるか、わくわくしながら訪問した。訪問先はNPO法人が運営する斐川町企業化支援センターで、地場産業の育成のため、商品開発の援助や研修を行い、施設は知恵を出して使い易くしてあり、壊す時の事まで考えてであるとの説明だった。

燃えるひと福岡さんの講演は、挨拶もそこそこに機関銃のような早口でスタートした。25社もの誘致の成功の秘訣は、誘致したらそれで終わりではなく、私が出てきてからが勝負で「増築しないか?」「困った事はないか?」本社をたびたび訪問した。企業からの相談には、自ら築いた人脈を駆使し、何年かかろうが答えを出した、そして企業の信頼を得た。その積み重ねが現在に至った。と自信たっぷりに語られた。

途中何度か退席されたが、その度に手に商品を持って「私のファンクラブの会社の商品だけど、あなたに

250円で売るけん商売せんかや?」「燃えん手袋売らんかや?」役場の人間の発想ではない商売のヒントが続々出てくる。予定の2時間はあつという間に過ぎ、次回東京の中小企業の頑張っている若手社長との異業種交流会で再会を約束し、講演を終了した。斐川町役場の「のぼせもん」は予想した以上に熱い熱い燃えるひとであった。



皆生トライアスロン 各部長に抱負を聞く!!

AS部長
福田一哉



浜田直前会長から団体ボランティア部改め、AS部の部長をするように拝命された時、すぐに「はい、わかりました」と返答したその直後、不安な気持ちになり、直前会長に聞き直しました。「私、入会してからずっとマラソン部に所属しております、ASの経験がありませんが、大丈夫でしょうか?」すると直前会長から「皆で助けてあげーけん、大丈夫だけん。」という、ありがたいお言葉を頂き、喜んで承諾させて頂きました。

という訳で、ASは全く素人の私です。一緒にASの中でやって頂く方ももちろん不安でしょう。でも、だから、やりがいがあるし、今迄が一番のASを、浜田直前会長や、会員の皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っております。

マラソン部、ボランティア部、AS部、それぞれ仕事は違いますが、目標やスピリッツは全く変わりません。全日本トライアスロン皆生大会を成功させること、それは選手、応援して下さる地域の皆様、本部の方、その全ての人たちに、心から「本当によい大会だった。」と感じてもらうことだと思っております。

西部青年中央会の皆さん、全員で力を振り絞ってガンバリましょう!!

マラソン部長
田中康裕



このたび第25回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部部長を拝命させて頂きましたが、平成6年より足掛け10年マラソン部へ従事させて頂いたキャリアをもう少し発揮せよという声と受け止め、皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

マラソン部の使命は、
①地域社会への貢献を具体化できる格好のチャンス
②トライアスロンのボランティア活動を通じた会員の絆の強化
の二つと考えています。

①の社会貢献は、「トライアスロンには中央会ありき」という対外的に中央会をPRできる行事でもあり、全国へ情報発信できるこの大会を通して地元活力の一役を担えればとの思いがあります。

また②の会員の絆の強化は、ひとつの目標へ向かって活動し、達成したときの素晴らしい感動を多くの方に実感して頂ければとの思いがあります。

ただしどちらも部長だけでは成し遂げられない事であり、マラソン部の皆様をはじめ役員及び会員の皆様には、是非とも暖かい協力をお願いいたたく存じます。

どうか今年の夏は大いにハッスルしましょう!

ボランティア部長
畠山広幸



昨年に引き続き、ボランティア部長を勤めさせて頂きたくになりました。みなさま宜しくお願いします。

ボランティアの活動は、人が豊かな生活を営むためにジュニアからシニアまで生涯にわたり共通して行動でき、各年代や場面に応じて感受できる「喜び」や「学び」があると思います。決して自己犠牲や奉仕というものではなく、もっと自己欲求的なものです。スポーツや運動、私たちが自己研鑽を求める気持ちに近いかもしれませんが、それはボランティアとはいえません。一方、中央会が青年経済団体として地域や企業発展の若き力の源泉です。中央会として「心の活性」と「地域エネルギーの高揚」もまた大いに意義ある生き方であると思います。経済だけではなく、もっとメンタルな「山陰の空気」を動かせる青年集団でありたい。「頑張ることの尊さ」「支えあうことの素晴らしさ」そのことを皆生トライアスロンは気づかせてくれます。皆生トライアスロンは中央会の主要事業の一つです。街を元気にする大会を我々中央会が担っていることを誇りに思います。ともに頑張らしましょう。

去

今年度のトライアスロンに対する取り組みとして、マラソン、ボランティア、ASの各部長が決定しました。各部への配属においても、今年は個人の希望を優先し配属先を決定する形となっています。配属された各自が各部門の業務を全うし、25回の記念大会を成功に導きましょう。

中央会とトライアスロンのかわり、会員が選手として出場しているのを応援するという形から始まりましたが、中村会長の時代より正式に会としてトライアスロン競技をバックアップしていくようになりました。そしてそれが今も続いているのは皆さんもご存知の通りです。今年もマラソンとボランティアの2部門とASを運営するわけですが、今後もかわりをもっていく上で、トライアスロンに対してどう取り組む事がこの地域を代表する行事である全日本トライアスロン皆生大会をとおして、我々が地域が地域貢献できるのか、それを次年度以降にどう引き継ぐのかを毎年考えさせられる事でもあります。

来

30周年を迎えた西部青年中央会は、オピニオンリーダーからアクションリーダーへと脱皮を図ることを宣言しました。周年時に30年の歩みビデオを鑑賞し、改めて歴史の重さを認識した今、今期に入会された新入会員に会うと次代の扉を切り拓くダイヤモンドの原石のように感じます。

中央会の未来を考えると、やはり自由闊達な議論の場が必要であると同時に重要だと感じます。別に改まった場でもなくとも、酒を酌み交わしながら夢を語ることもいいのです。一人の思いが多く賛同者を呼び、委員会としてまた中央会としての取り組みになっていくこともあるのです。中央会には、ノウハウの蓄積があり、会員個々のパワーを結集させれば何でも実現できる力を兼ね備えた経済団体です。取り組む内容が、地域社会貢献であれ、政治行政への投げ掛けであれ、ただ願うだけでは夢のまま。時限立法で実現する日を定めると具体的な行動が明確になるのではないかと思います。

単年度事業のみで結果を判断せず、長い年月を振り返った時に確実に進化してきたことが感じられ、中央会の歴史の一躍を担うことができたと見えるような充実した中央会生活を送っていただけたらと思います。

現

昨年の忘年例会で行われた新入会員20数名の皆さんによるゴリエダンスは、年齢に関係のない力強いパワー、そして団結力を感じさせられた。ほんの少しでもお手伝いとして関わることがうれしかった。

話しが飛ぶが、今は人類が大変な時代と思う。世界的な異常気象、東南アジアでは津波で米子市の人口を上回る方が行方不明または亡くなられた。日本では十年に一度といわれるような凶悪犯罪が毎日のようにテレビでニュースになっている。食べ物も0・157の騒ぎ以来、狂牛病、鳥インフルエンザと色んなことが起こる。

昨年度、浜田直前会長が例会の挨拶の中で「日本人の心を失ってしまった日本人」と話されたのが印象に残っている。色々な解釈があるのだろうが、私なりに他人を思いやる心を失ってしまった日本人ということかなあと感じた。思いやりのある人の反対は自分本位な人だろうか。世の中の人みんなが自分本位になれば、人類は本当に滅んでしまう。

話しが大きさでピンとこないかもしれないが、だからこそ、新入会員の方々の団結が、お互いを思いやる気持ち、友愛を深める交わりになればすごくいいなと思った。

2005年 Good luck!! 卒会予定者

来る人あれば去る人もある。様々な伝統を作り上げた精鋭達に栄光あれ!!

本年、卒会予定者12名を一挙に紹介する新コーナーです。(写真は入会時の写真を使用しています。)



徳中志伸

生年月日…昭和35年1月20日
入会日…昭和62年7月
在籍年数…18年
入会年度会長…中村昌哲

一番の思い出…今、想うとすべてが思い出。26才で入会、初めての例会で、わごうのステージ、当時の和田秋男会長からバッチを付けていただきながら一言「しのぶ、ええスーツ買ったのぉー」あの日から18年沢山のすばらしい思い出を本当にありがとう。



足立耕太郎

生年月日…昭和34年11月17日
入会日…昭和63年6月
在籍年数…17年
入会年度会長…中村昌哲

一番の思い出…景川恭次労務委員長時代、副委員長を任命され、一年を通して女性の職場の労務の状況調査という名目で毎回委員会は合コン状態。最後の打ち上げは安来の温泉地でコンパニオンさんと委員会実施。今でも語り草になりました。5時から委員長～最高でした!!



山本泰彦

生年月日…昭和34年7月9日
入会日…平成3年7月
在籍年数…14年
入会年度会長…宇佐美明

一番の思い出…小原会長のもと、金融委員会を拝命した。当時、金融ビックバーンなる号令の中、ちまたに寒々とした雰囲気漂っていた。多少ジョークで倒産トカルチョでもしようか?誰が勝ち残るのかななんて言っていたら、山一證券が破綻した。あれから何年…日本はまだ冬の時期。卒会とともに本当の春を待ちたい!!

おめでとうございます

御誕生

宮崎大介会員
1月11日 長女 悠(はるか)ちゃん



角田敏宏会員
1月13日 第三子
二男 洸稀(こうき)くん

2月役員会報告

2月定例役員会が平成17年2月1日(火)、米子食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会(臨時総会)の件
- ・3月総会(臨時総会)の件
- ・その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

2月例会(臨時総会)案内

と き：平成17年2月15日(火) 18:30~
と ころ：ホテルサンルート米子
講 師：(株)山陰ビデオシステム 代表取締役 高橋孝之氏
演 題：メディアを活用したまちづくり
担 当：役員

